【スカラシップ試験】国語

問題の構成ならびに各問題の出題意図は以下の通りである。

第 1 問：

「〈私〉を取り戻す哲学」岩内 章太郎 著 からの出題です。ピュロン主義やデカルトの方法的懐疑に言及しながらフッサールの現象学的還元という認識問題を扱う哲学的文章です。文章の内容を理解するためには、正確で丁寧な読書力と持続的な集中力が必要となります。この文章の読解を通して、受験生の論理的・抽象的思考能力、語彙力等を問うています。

第 2 問：

「光と陰の紫式部」三田 誠広 著 からの出題です。問題文の主な登場人物は中宮彰子と香子（紫式部)、そして行成ですが、ストーリーの中には 20 名を超える大勢の人物名が登場します。その多くの人間関係を整理しながら読解できるかどうかを問う問題です。現代に生きる我々は常にあふれかえる情報の海の中で生活しています。その雑多な情報に軽重を付け整理する力はこれからの社会を生き抜く上で必須な力です。なんとなくではなく、きちんとした根拠に基づいた読解力が求められます。